

がん患者用トレーシングレポートについて ～悪心・嘔吐 編～

石巻赤十字病院 薬剤部 亀山



本日の内容



- がん患者用トレーシングレポートの運用について
- がん患者用トレーシングレポートの記載内容について
- がん患者用トレーシングレポートの活用例



本日の内容



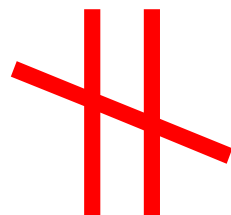
- **がん患者用トレーシングレポートの運用について**
- がん患者用トレーシングレポートの記載内容について
- がん患者用トレーシングレポートの活用例



トレーシングレポートとは・・・

トレーシングレポート(服薬情報提供書)

保険薬局薬剤師が患者から得た情報の中で、「医療上の**緊急性は低い**が医療機関への報告が望ましい情報」と判断した内容を記載した文書のこと。



疑義照会

薬剤師が処方箋の記載内容に不明点や疑問点があった場合に、
処方医に内容を確認すること



疑義照会ではないことに注意



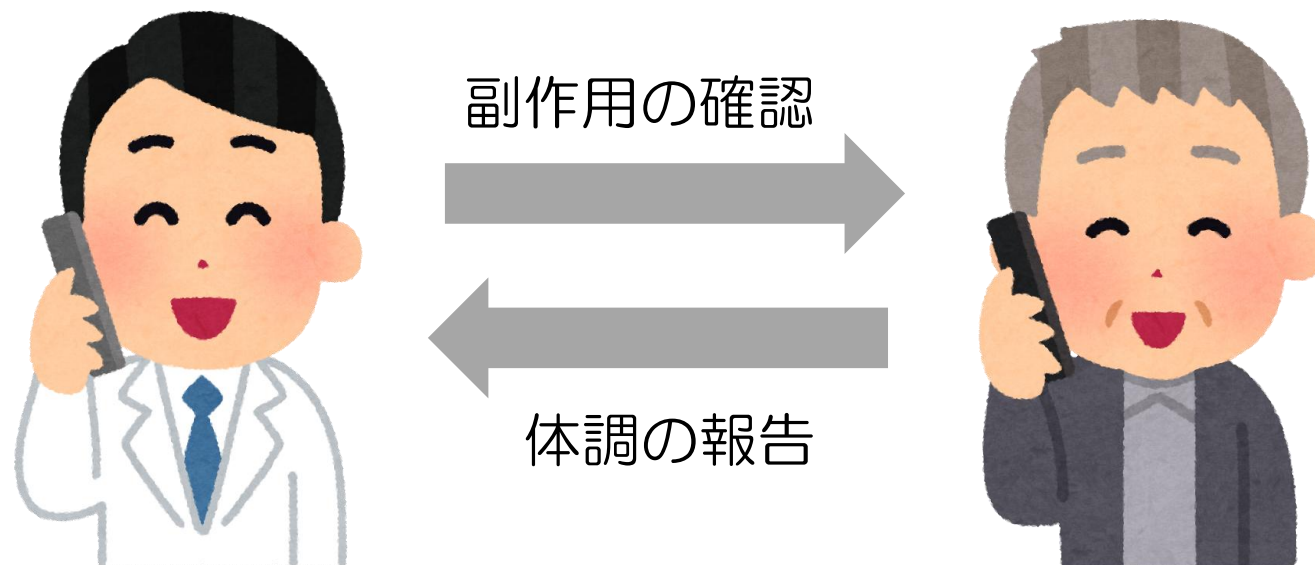
がん患者用トレーニングレポートとは・・・



がん患者用トレーニングレポート

がん治療患者に対してのテレフォンプォローアップの際の副作用評価に用いることを想定して作成したもの。副作用評価欄に「病院連絡の目安」を作成し、緊急で病院受診が必要な副作用の程度を明確化していることが特徴

テレフォンプォローアップのイメージ図





がん患者用トレーニングレポートとは・・・



石巻赤十字病院 診療支援事務局 (FAX: 0225-96-0122) 報告日: 20 年 月 日
 代表 (TEL: 0225-21-7220) 患者IDもしくは生年月日: 先生 御机下 保険薬局名
 がん患者用トレーニングレポート(服薬情報提供書) 患者名: 電話番号: 処方日: 20 年 月 日
 FAX番号: 報告者名(薬剤師):

薬剤名またはプロコール名:

【現在の有害事象発現状況について本枠内の各項目に無または有に○をつけ、また□には該当する場合✓してください】

【今日の治療開始から現在までの有害事象発現状況で一番酷かった時の状況について各項目に該当する場合✓してください】

有害事象	無・有	病院連絡の目安	Grade1	Grade2	Grade3	発現時期 (いつからいつまで)
発熱	無・有	38.0℃以上	38.0~38.0℃	39.0~40.0℃	40.0℃以上	
血圧	無・有	180/120mmHg以上	120~139/80~89mmHg	140~159/90~99mmHg	160/100mmHg以上	
食欲不振	無・有	3日以上続く、食事量の0~30%への食欲低下	食事量50%~80%への食欲低下	食事量30%~50%への食欲低下	3日以上続く、食事量の0~30%への食欲低下	
悪心	無・有	3日以上続く、食事量の0~30%への食欲低下	食事量50%~80%への食欲低下	食事量30%~50%への食欲低下	3日以上続く、食事量の0~30%への食欲低下	
嘔吐	無・有	1日に3~5回の嘔吐	1日に1~2回の嘔吐	1日に3~5回の嘔吐	1日に6回以上の嘔吐	
下痢	無・有	通常の排便回数+4~6回/日の下痢	通常の排便回数+1~3回/日の下痢	通常の排便回数+4~6回/日の下痢	通常の排便回数+7回以上/日の下痢	
便秘	無・有	※別紙参照	下剤を時々使用	下剤を定期的使用	※別紙参照	
口腔粘膜炎	無・有	疼痛があり、摂食できない	わずかで摂食に影響なし	疼痛があり、摂食の工夫が必要	疼痛があり、摂食できない	
倦怠感	無・有		だるさがある、または元気がない	身の回り以外の日常生活動作が制限される	身の回りの生活動作が制限される	
手足症候群	無・有	疼痛を伴うまたは足裏の皮膚炎があり普段の生活ができない	疼痛を伴わないまたは足裏の皮膚炎	疼痛を伴うまたは足裏の皮膚炎があり普段の生活ができる	疼痛を伴うまたは足裏の皮膚炎があり普段の生活ができない	

※病院連絡の目安に該当する場合は、当院へご連絡するよう指導いたします。

提案事項・その他報告事項

【病院使用欄】
 担当医は報告内容について確認し、返信欄に対応を記載して下さい。
 担当医からの返信欄
 報告内容を確認させていただきました。今後ともよろしくお願ひします。
 次回診察時に確認させていただきます。
 ご報告内容につきましては経過観察させていただきます。
 下記の通り対応させていただきます。

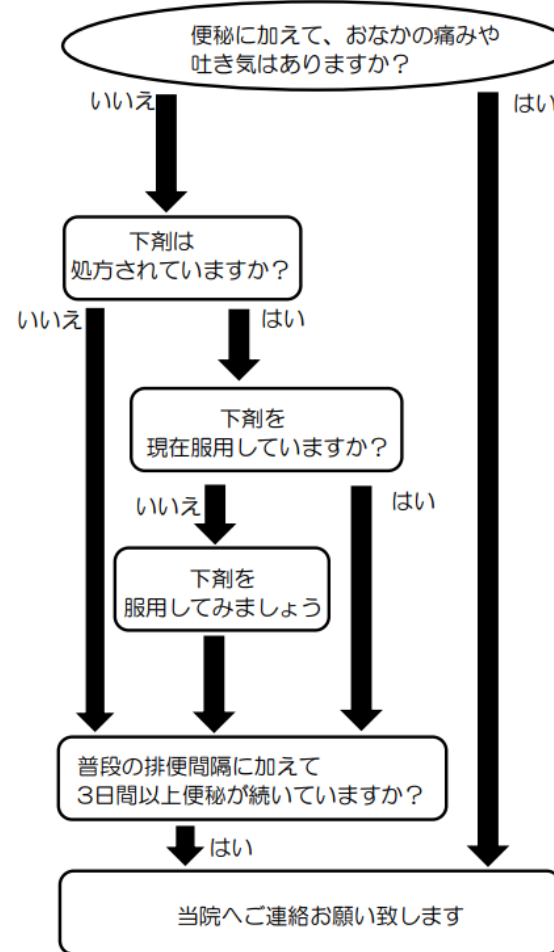
記載日 記載医師名

年 月 日

石巻赤十字病院 薬剤部
 石巻赤十字病院 がん化学療法標準治療登録小委員会

※便秘:別紙

《便秘のとき》





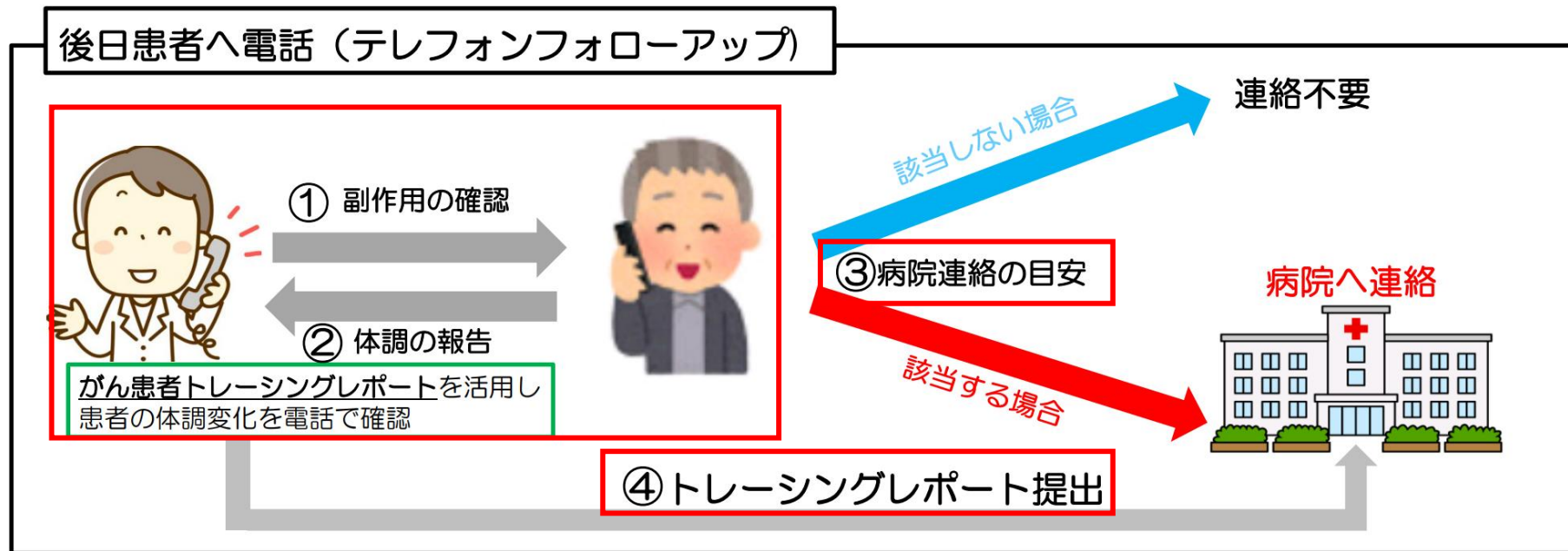
がん患者用トレーシングレポートの想定する使用場面



テレフォントレーシングレポートのタイミングはいつがよいか？



明確な基準がないのが現状
一般的には・・・



- 副作用の好発時期を考慮
- 内服抗がん薬の場合、次回受診日までの中間日（例：2週間後に受診する場合は1週間前後）を目安に実施



実際は
個々の患者の状況に合わせて実施することが望ましい



がん患者用トレーシングレポートでの評価について



がん患者用トレーシングレポートの副作用評価欄抜粋

薬剤名またはプロトコール名:

【現在の有害事象発現状況について太枠内の各項目に無または有に○をつけ、また□には該当する場合✓してください】

【今回の治療開始から現在までの有害事象発現状況で一番酷かった時の状況について各項目に該当する場合✓してください】

□ は薬剤毎に必要時評価してください。

有害事象	無・有	病院連絡の目安			Grade			発現時期 (いつからいつまで)
		Grade1	Grade2	Grade3				
発熱	℃	□ 38.0℃以上	□ 38.0~39.0℃	□ 39.0~40.0℃	□ 40.0℃以上			
血圧	/ mmHg	□ 180/120mmHg 以上	□ 120~139/80~89mmHg	□ 140~159/90~99mmHg	□ 160/100mmHg以上			
食欲不振	無・有	□ 3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	□ 食事量50%~80%への食欲低下	□ 食事量30%~50%への食欲低下	□ 3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下			
悪心	無・有	□ 3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	□ 食事量50%~80%への食欲低下	□ 食事量30%~50%への食欲低下	□ 3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下			
嘔吐	無・有	□ 1日に3回以上の嘔吐	□ 1日に1~2回の嘔吐	□ 1日に3~5回の嘔吐	□ 1日に6回以上の嘔吐			
下痢	無・有	□ 通常の排便回数+4回以上/日の下痢	□ 通常の排便回数+1~3回/日の下痢	□ 通常の排便回数+4~6回/日の下痢	□ 通常の排便回数+7回以上/日の下痢			
便秘	無・有	□ ※別紙参照	□ 下剤を時々使用	□ 下剤を定期的に使用	□ ※別紙参照			
口腔粘膜炎	無・有	□ 疼痛があり、摂食できない	□ わずかで摂食に影響なし	□ 疼痛があり、摂食の工夫が必要	□ 疼痛があり、摂食できない			
倦怠感	無・有	□	□ だるさがある、または元気がない	□ 身の回り以外の日常生活動作が制限される	□ 身の回の生活動作が制限される			
手足症候群	無・有	□ 疼痛を伴う掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活ができない	□ 疼痛を伴わない掌または足裏の皮膚炎	□ 疼痛を伴う掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活ができる	□ 疼痛を伴う掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活ができない			

※病院連絡の目安に該当する場合は、当院へご連絡するよう指導お願い致します。

評価は2通りに分けて記載

■現在の副作用について

該当する場合は
病院へ連絡するよう指導
後日FAXにて
病院へ情報提供

■今回の治療開始から 現在までの副作用について

後日FAXにて
病院へ情報提供

※多忙とは思いますが
現在の副作用については
必ず聞き取りの方よろしく
お願い致します。



がん患者用トレーシングレポートでの評価について



がん患者用トレーシングレポートの副作用評価欄抜粋

有害事象	無・有	病院連絡の目安	Grade			発現時期 (いつからいつまで)
			Grade1	Grade2	Grade3	
発熱	℃	□ 38.0℃以上	□ 38.0~39.0℃	□ 39.0~40.0℃	□ 40.0℃以上	
血圧	/ mmHg	□ 180/120mmHg 以上	□ 120~139/80~89mmHg	□ 140~159/90~99mmHg	□ 160/100mmHg以上	
食欲不振	無・有	□ 3日以上続く、食事量0~30%への食欲低下	□ 食事量50~80%への食欲低下	□ 食事量30~50%への食欲低下	□ 3日以上続く、食事量0~30%への食欲低下	
悪心	無・有	□ 3日以上続く、食事量0~30%への食欲低下	□ 食事量50~80%への食欲低下	□ 食事量30~50%への食欲低下	□ 3日以上続く、食事量0~30%への食欲低下	
嘔吐	無・有	□ 1日に3回以上の嘔吐	□ 1日に1~2回の嘔吐	□ 1日に3~5回の嘔吐	□ 1日に6回以上の嘔吐	
下痢	無・有	□ 通常の排便回数+4回以上/日の下痢	□ 通常の排便回数+1~3回/日の下痢	□ 通常の排便回数+4~6回/日の下痢	□ 通常の排便回数+7回以上/日の下痢	
便秘	無・有	□ ※別紙参照	□ 下剤を時々使用	□ 下剤を定期的に使用	□ ※別紙参照	
口腔粘膜炎	無・有	□ 疼痛があり、摂食できない	□ わずかで摂食に影響なし	□ 疼痛があり、摂食の工夫が必要	□ 疼痛があり、摂食できない	
倦怠感	無・有	□	□ だるさがある、または元気がない	□ 身の回り以外の日常生活動作が制限される	□ 身の回の生活動作が制限される	
手足症候群	無・有	□ 疼痛を伴う掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活ができない	□ 疼痛を伴わない掌または足裏の皮膚炎	□ 疼痛を伴う掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活できる	□ 疼痛を伴う掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活ができない	

手足症候群を評価する薬剤毎*の例

フッ化ピリミジン系
(カペシタビン、S-1、フルオロウラシルなど)
ドキシル®
マルチキナーゼ阻害薬
(スチバーガ®、レンビマ®など)
など

末梢神経障害を評価する薬剤の例

ビンカルアルカイド系
(オンコビン®など)
タキサン系
(パクリタキセル、ドセタキセル、アブラキサン®など)
オキサリプラチン
など



□ の項目は、**すべての薬剤**で評価をお願い致します！

□ の項目は、**薬剤毎***で評価をお願い致します！

評価欄のない副作用の評価については提案事項
その他報告事項の欄に記載してください



がん患者用トレーシングレポートでの評価について



高度催吐性リスク high emetic risk

	急性期		遅発期		
	1	2	3	4	5 (日)
5-HT ₃ 受容体拮抗薬					
経口NK ₁ 受容体拮抗薬 (mg)	125	80	80		
または 静注NK ₁ 受容体拮抗薬					
デキサメタゾン (mg)	9.9	8	8	8	
オランザピン (mg)*	5	5	5	5	

糖尿病

ガイドライン改訂により
新たにオランザピンが追加



NK1受容体拮抗薬と5-HT₃受容体拮抗薬、デキサメタゾン、オランザピンの4剤併用が標準化されました



がん患者用トレーシングレポートでの評価について

MEC

中等度催吐性リスク moderate emetic risk

	急性期		遅発期		
	1	2	3	4	5 (日)
5-HT ₃ 受容体拮抗薬*					
デキサメタゾン(mg)	 9.9 (6.6)	8**	8**		

括弧内は代替用量

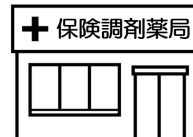
カルボプラチン(AUC \geq 4)投与時または、カルボプラチン以外の抗がん薬において、2剤併用療法では悪心が十分制御できない場合(BQ3, CQ3 参照)。

	急性期		遅発期		
	1	2	3	4	5 (日)
5-HT ₃ 受容体拮抗薬*					
経口NK ₁ 受容体拮抗薬(mg)	125	80	80		
または 静注NK ₁ 受容体拮抗薬					
デキサメタゾン(mg)	 4.95 (3.3)	4	4		

括弧内は代替用量

中等度催吐性リスクの場合
5-HT₃受容体拮抗薬とデキサメ
タゾンの2剤が標準的な予防方
法になります

AUC \geq 4のカルボプラチンの場
合は、NK₁受容体拮抗薬が推奨
されております



がん患者用トレーシングレポートでの評価について



軽度催吐性リスク low emetic risk

	急性期		遅発期		
	1	2	3	4	5 (日)
デキサメタゾン (mg)	6.6 (3.3)				
もしくは 5-HT ₃ 受容体拮抗薬					

括弧内は代替用量

デキサメタゾン
もしくは
5-HT₃受容体拮抗薬
のどちらかの選択となります

制吐薬ガイドライン ご確認をお願いします



がん患者用トレーシングレポートでの評価について



有害事象共通用語規準 v5.0日本語訳JCOG版 (CTCAE v5.0 - JCOG)
 [CTCAE v5.0/MedDRA v20.1 (日本語表記: MedDRA/J v21.1) 対応 - 2018年9月15日]

CTCAE v5.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	Grade 5	CTCAE v5.0 AE Term Definition 日本語【定義】
嘔吐	治療を要さない	外来での静脈内輸液を要する; 内科的治療を要する	経管栄養/TPN/入院を要する	生命を脅かす	死亡	胃内容が口から逆流性に排出されること
悪心	摂食習慣に影響のない食欲低下	顕著な体重減少, 脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分; 経管栄養/TPN/入院を要する	-	-	ムカムカ感や嘔吐の衝動

電話での聴き取りが基本となるためCTCAEに準じわかりやすく一部内容を変更しております

ポイント!

悪心 普段の食事量からどれくらい低下しているのか?

※食欲は低下しているものの 食事量が低下していなければ問題はございません

嘔吐 1日の嘔吐回数は何回くらいか?

有害事象	無・有	病院連絡の目安	Grade			発現時期 (いつからいつまで)
			Grade1	Grade2	Grade3	
発熱	℃ □	38.0℃以上	□ 38.0~39.0℃	□ 39.0~40.0℃	□ 40.0℃以上	
血圧	/ mmHg □	180/120mmHg 以上	□ 120~139/80~89mmHg	□ 140~159/90~99mmHg	□ 160/100mmHg以上	
食欲不振	無・有 □	3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	□ 食事量50%~80%への食欲低下	□ 食事量30%~50%への食欲低下	□ 3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	
悪心	無・有 □	3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	□ 食事量50%~80%への食欲低下	□ 食事量30%~50%への食欲低下	□ 3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	
嘔吐	無・有 □	1日に3回以上の嘔吐	□ 1日に1~2回の嘔吐	□ 1日に3~5回の嘔吐	□ 1日に6回以上の嘔吐	

悪心Grade

3

嘔吐Grade

2

▶ 病院に連絡を



がん患者用トレーシングレポートのダウンロードについて



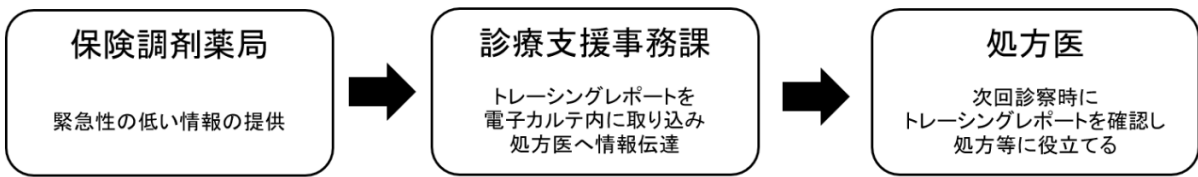
当院ホームページより『がん患者用トレーシングレポート』をダウンロードできます

《当院ホームページからがん患者用トレーシングレポートまで》

診療科・部門>部門>薬剤部>患者・医療関係者の方へ
>がん患者用トレーシングレポート ※「>」はクリック

トレーシングレポートの利用方法と流れについて

トレーシングレポートを下記よりダウンロードして頂き、必要事項を記入頂いた後、FAXにて診療支援事務課まで送信してください。



※頂いた情報につきましては上記流れで処方医へお伝えしております。

[【がん患者用】トレーシングレポートフロー](#)

[【がん患者用】トレーシングレポート\(PDF\)](#)

[【がん患者用】トレーシングレポート\(Excel\)](#)

クリック！！

※トレーシングレポート(Excel)は、必ずファイルをダウンロードのうえご利用ください。

是非ご利用頂けたら幸いです

がん患者用トレーシングレポート

石巻赤十字病院 診療支援事務課 宛 (FAX: 0225-96-9122) 代表 (TEL: 0225-21-7220) 報告日: 20 年 月 日 ※便秘: 別紙
がん患者用トレーシングレポート(服薬情報提供書) 報告者: 20 年 月 日

担当医	科	先生 御机下	保険薬局名
患者IDもしくは生年月日:			電話番号:
患者名:			FAX番号:
			報告者名(薬剤師):

薬剤名またはプロコール名:

【重症の有事事象発現状況について太極内の各項目に無または有に○をつけ、また□には該当する場合✓してください】

【今回の治療開始から現在までの有事事象発現状況で一番酷かった時の状況について各項目に該当する場合✓してください】

有事事象	頻・有	病院連携の目安	Grade1	Grade2	Grade3	発現頻度 (いつからいつまで)
発熱	□	38.0℃以上	□ 38.0~39.0℃	□ 39.0~40.0℃	□ 40.0℃以上	
血圧	□	180/120mmHg以上	□ 120~139/80~99mmHg	□ 140~159/90~99mmHg	□ 160/100mmHg以上	
食欲不審	□	3日以上続く、食事量50%~30%への 食後低下	□ 食事量50%~80%への食後低下	□ 食事量30%~50%への食後低下	□ 3日以上続く、食事量0%~30%への 食後低下	
悪心	□	3日以上続く、食事量50%~30%への 食後低下	□ 食事量50%~80%への食後低下	□ 食事量30%~50%への食後低下	□ 3日以上続く、食事量0%~30%への 食後低下	
嘔吐	□	1日に3~5回の嘔吐	□ 1日に1~2回の嘔吐	□ 1日に1~2回の嘔吐	□ 1日に4回以上の嘔吐	
下痢	□	通常の排便回数(4~8回)の5日 未満	□ 通常の排便回数(4~8回)の3日 未満	□ 通常の排便回数(4~8回)の2日 未満	□ 通常の排便回数(4~8回)の1日 未満	
便秘	□	下剤を待たず使用	□ 下剤を定期的使用	□ 下剤を定期的使用	□ 下剤を定期的使用	
口腔乾燥	□	疼痛があり、摂取できない	□ わずかですが、摂取に影響なし	□ 疼痛があり、摂取の工夫が必要	□ 疼痛があり、摂取できない	
倦怠感	□		□ だるさがある、または元気がない	□ 身の回り以外の日常生活動作が 制限される	□ 身の回りの日常生活動作が制限される	
手足症状群	□	疼痛を伴うまたは足裏の皮膚病 があり歩行の生活ができない	□ 疼痛を伴わないまたは足裏の皮膚病 があり歩行の生活ができる	□ 疼痛を伴うまたは足裏の皮膚病 があり歩行の生活ができる	□ 疼痛を伴うまたは足裏の皮膚病 があり歩行の生活ができない	

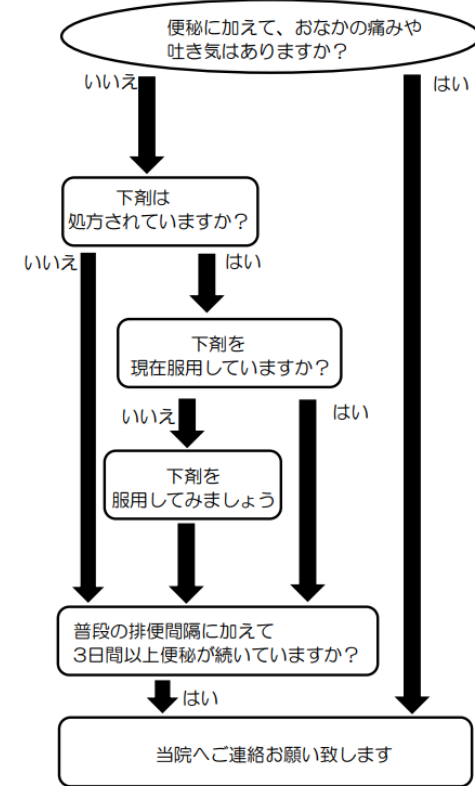
※病院連携の目安に該当する場合は、当該へご連絡するようお願いいたします。

※重要事項への記載事項

【情報提供欄】
担当者は報告内容について確認し、連携欄に反応を記載して下さい。
担当医からの返信欄
□ 報告内容を確認させていただきました。今後ともよろしくお願ひします。
□ 次回診察時に確認させていただきます。
□ 報告内容につきましては経過観察させていただきます。
□ 下記の通り対応させていただきます。

記載日 記載医師名

《便秘のとき》





本日の内容



- がん患者用トレーシングレポートの運用について
- がん患者用トレーシングレポートの記載内容について
- がん患者用トレーシングレポートの活用例



がん治療におけるトレーシングレポートの記載内容



私見で作成

好ましいと思われる内容

- 患者状態についての記載
- 有害事象・副作用がある場合は
客観的な評価指標で記載
(例えば：CTCAE*など)
- 支持療法薬の使用状況/服薬状況の記載
- 評価後の判断と指導内容の記載
(支持療法薬で対応、受診勧奨、経過観察、
生活指導など)
- 提案内容
など

好ましくないと思われる内容

- 疑義照会と思われる内容
- 聞き取った内容をそのまま記載
(有害事象・副作用などを客観的な
評価指標で記載していないなど)
- 問題に対する判断と評価、
指導内容がない記載
など

※CTCAE：Common Terminology Criteria for Adverse Events

忘れてはいけないトレーシングレポートの目的

医療機関と連携し患者が安全に治療を受けられるように情報をフィードバックし支援すること



がん治療におけるトレーシングレポートでよくある質問



Q

がん患者の副作用評価はどのような評価尺度を使えばよいですか？

A

一般的には、CTCAE(Common TerminologyCriteria for Adverse Events) を用いることが多いです。

CTCAE (Common TerminologyCriteria for Adverse Events)とは？

- 米国国立がん研究所(NCI)にて作成
- 日本臨床腫瘍研究グループ (JCOG) による日本語版
- **有害事象を評価するための世界共通のものさし**

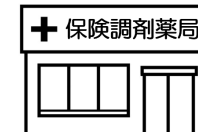
実際にはこんな感じのものです

有害事象共通用語規準 v5.0日本語訳JCOG版(CTCAE v5.0 - JCOG)
 [CTCAE v5.0/MedDRA v20.1(日本語表記:MedDRA/J v22.1)対応 - 2019年9月5日]



CTCAE v5.0 MedDRA v20.1 Code	CTCAE v5.0 SOC 日本語	CTCAE v5.0 Term	CTCAE v5.0 Term 日本語	Grade 1	Grade 2	Grade 3	Grade 4	Grade 5	CTCAE v5.0 AE Term Definition 日本語【定値】	検索上の注意
10062646	臨床検査	Pancreatic enzymes decreased	膵酵素減少	<LLN かつ症状がない	排便頻度/排便量/便臭の増加; 脂肪便	吸収障害に続発する症状	-	-	臨床検査にて生体試料の膵酵素レベルが低下	-
10035528	臨床検査	Platelet count decreased	血小板数減少	<LLN-75,000/mm ³ ; <LLN-75.0×10e9 /L	<75,000-50,000/mm ³ ; <75.0-50.0×10e9 /L	<50,000-25,000/mm ³ ; <50.0-25.0×10e9 /L	<25,000/mm ³ ; <25.0×10e9 /L	-	臨床検査にて血中血小板数が減少	-
10040139	臨床検査	Serum amylase increased	血清アミラーゼ増加	>ULN-1.5×ULN	>1.5-2.0×ULN; 2.5-5.0×ULNで症状がない	>2.0-5.0×ULNで微候や症状がある; >5.0×ULNで症状がある	>5.0×ULNで微候や症状がある	-	臨床検査にて血清アミラーゼレベルが上昇	-



がん患者用トレーシングレポートでの評価について



CTCAEはどこから見ることができるのでしょうか？

ctcae ver5.0 日本語 **CTCAEで検索**   

すべて 画像 動画 地図 ニュース

77 件の検索結果 時間指定なし ▾

[Common Terminology Criteria for Adverse Events \(CTCAE ...\)](http://www.jcog.jp/doctor/tool/ctcaev5.html)
www.jcog.jp/doctor/tool/ctcaev5.html ▾

クリック！！



最新版 <2021年9月1日版>

CTCAE v5.0 - JCOGの公開ファイル

- CTCAE v5.0 - JCOG 2021年9月1日版 (本体および解説ページの日本語訳と日本語訳に関する注意事項を記載したPDFファイル)
- CTCAE v5.0 - JCOG 2021年9月1日版 (本体および解説ページの日本語訳と日本語訳に関する注意事項を記載したPDFファイル) 2021年3月公開版から2021年9月公開版への差分表示
- CTCAE v5.0 - JCOG 2021年9月1日版 (本体のみのExcelファイル)
- CTCAE v5.0 - JCOG 2021年9月1日版 (本体のみのExcelファイル) 2021年3月公開版から2021年9月公開版への差分表示変更列あり
- CTCAE v5.0 - JCOG 2021年9月1日版 新旧対照表



がん治療におけるトレーシングレポートでよくある質問



Q

副作用がなく特に問題ない場合でもトレーシングレポートは提出したほうがいいですか？

A

症状がない場合でも、フォローアップした時点で症状がないという大切な情報です。しっかりフォローして頂いていることも分かるため提出していただいた方がよいです。

Q

受診勧奨するGrade(CTCAE※)はどのくらいですか？

※CTCAE : Common Terminology Criteria for Adverse Events

A

当院は、受診勧奨する目安を「がん患者用トレーシングレポートの病院連絡の目安」として定めていますので、参考にして受診勧奨して頂ければよいです。

報告対象は有害事象・副作用だけではない
受診勧奨が必要な副作用の程度は病院連絡の目安を参考に





がん治療におけるトレーシングレポートでよくある質問



Q

がん治療におけるトレーシングレポートはどのように記載したほうが伝わりやすいですか？

A

簡潔的に記載してあれば伝わるとおもいます。

※よくない例：聞き取った内容をそのまま記載している、箇条書きで記載している など
(良い例)

〇月△日(day8)にテレフォンフォローアップしたところ、1日6回の下痢症状があるとのことでした。

ベースラインの排便が1日1回であることを踏まえると下痢Grade2相当と思われます。

病院連絡の目安に該当しましたので、受診勧奨致しました。

ご対応と排便状況のご確認お願い致します。



〇月△日(day8)にテレフォンフォローアップしたところ、1日6回の下痢症状があるとのことでした。

症状

評価

ベースラインの排便が1日1回であることを踏まえると下痢Grade2相当と思われます。

病院連絡の目安に該当しましたので、受診勧奨致しました。

ご対応と排便状況のご確認お願い致します。

対応・提案



がん治療におけるトレーシングレポートでよくある質問

Q

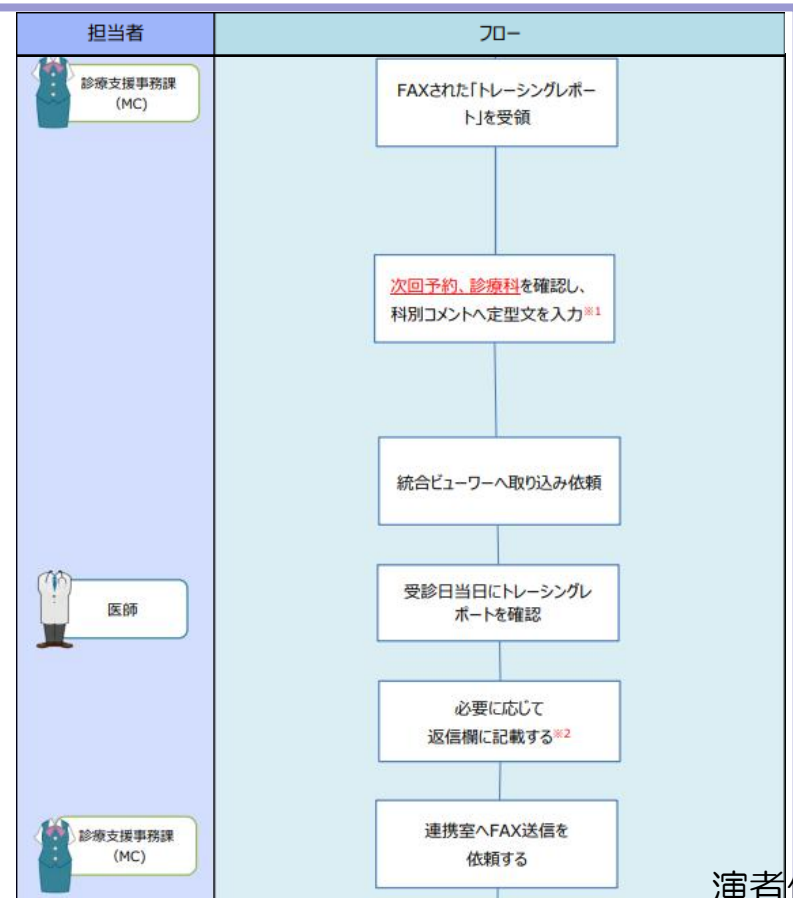
FAXで送信したがん患者用トレーシングレポートはどのような流れで医師に伝わっていますか？

A

受領されたトレーシングレポートは、院内の情報伝達手段(科別)を介して、医師へ伝達され診察当日に、トレーシングレポートを確認し診療へいかすような流れで医師に伝わっています。そのため受領されたすべてのトレーシングレポートが医師まで伝わっています。

※右のフローは、当院におけるがん患者用トレーシングレポートフローの抜粋

すべて
見えています

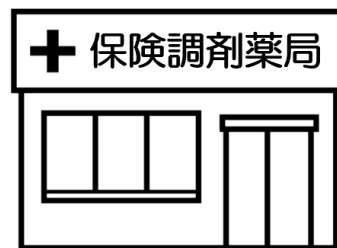




病院、保険調剤薬局におけるより良い連携を続けていくためには？

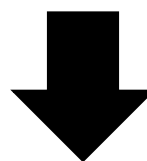


病院薬剤師



保険調剤薬剤師

一方通行の情報提供では、続かない💧



病院薬剤師



保険調剤薬剤師

「お互いを思いやること」が重要



本日の内容



- がん患者用トレーシングレポートの運用について
- がん患者用トレーシングレポートの記載内容について
- がん患者用トレーシングレポートの活用例



がん患者用トレーニングレポートの活用例



【症例】

63歳 男性
大腸癌 StageIV
BV+SOX療法

BV+SOX療法 制吐薬
Day1 パロノセトロン・デキサメタゾン

催吐性 リスク	S-1	軽度
	L-OHP	中等度
	BV	最小度

レジメン番号 527

1コースの日数 21日

レジメン名 BV+SOX(S-1+L-OHP)療法

投与回数上限

対象疾患名 大腸癌

文献 (PubMed ID)

石巻赤十字病院
JAPANESE RED CROSS SHIZUOKA HOSPITAL
医療関係者・リクルートサイト

0225-21-7220 代表番号 内定者・退職者の方 > 患者さん・ご家族の方 >

トップページ > レジメン > がん化学療法のレジメン

がん化学療法のレジメン

乳癌 >	大腸癌 >	前立腺癌 >
胃癌 >	肺癌 >	膵臓癌 >
造血器腫瘍 >	食道癌 >	卵巣癌・子宮頸癌・子宮体癌 >
胆道癌 >		

< 問い合わせ > 担当：化学療法小委員会 TEL：0225-21-7220

レジメン内容

	適用期間	休業期間
	Day1	Day21
注射	パロノセトロン静注 0.75mg 5mL … 1瓶 デキサメタゾン注射液 6.6mg … 1瓶 50mL 生理食塩液 … 1瓶 ①15分で カシミア注 5mg … 1管 フェキサナール注射液 20mg … 1管 50mL 生理食塩液 … 1瓶 ②15分で パロリン点滴静注 … 7.5mg/kg 100mL 生理食塩液 … 1瓶 ③初回90分、2回目60分、3回目以降30分で 特リアラチ点滴静注 … 130mg/m ² 250mL 糖液 5% … 1本 ④120分で	
投薬 (院内)		
投薬 (院外)	S-1 … 80mg/m ² 1日2回 朝食後 14日間	



がん患者用トレーニングレポートの活用例



BV+SOX ①コース目 day10 TEL



① 副作用の確認



② 体調の報告

がん患者トレーニングレポートを活用し
患者の体調変化を電話で確認



点滴してから5日間位、吐き気があって食欲が減りました。食事は普段の半分弱しか摂れておりませんでした。6日目以降から吐き気が治まり食欲も戻ってきました。治療のためにとS-1は頑張っ
て飲んでいきます。

①コース目day1-5に悪心・食欲不振が発現



がん患者用トレーシングレポートでの評価について



実際に記入してみよう！

がん患者用トレーシングレポートの副作用評価欄抜粋

薬剤名またはプロトコール名:

BV + SOX

【現在の有害事象発現状況について太枠内の各項目に無または有に○をつけ、また□には該当する場合✓してください】

【今回の治療開始から現在までの有害事象発現状況で一番酷かった時の状況について各項目に該当する場合✓してください】

は薬剤毎に必要時評価してください。

有害事象	無・有	病院連絡の目安			Grade			発現時期 (いつからいつまで)		
		Grade1	Grade2	Grade3						
発熱	℃	□	38.0℃以上	□	38.0~39.0℃	□	39.0~40.0℃	□	40.0℃以上	
血圧	/	□	180/120mmHg 以上	□	120~139/80~89mmHg	□	140~159/90~99mmHg	□	160/100mmHg以上	
食欲不振	無・有	□	3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	□	食事量50%~80%への食欲低下	✓	食事量30%~50%への食欲低下	□	3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	Day1-5まで
悪心	無・有	□	3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	□	食事量50%~80%への食欲低下	✓	食事量30%~50%への食欲低下	□	3日以上続く、食事量0%~30%への食欲低下	同上
嘔吐	無・有	□	1日に3回以上の嘔吐	□	1日に1~2回の嘔吐	□	1日に3~5回の嘔吐	□	1日に6回以上の嘔吐	
下痢	無・有	□	通常の排便回数+4回以上/日の下痢	□	通常の排便回数+1~3回/日の下痢	□	通常の排便回数+4~6回/日の下痢	□	通常の排便回数+7回以上/日の下痢	
便秘	無・有	□	※別紙参照	□	下剤を時々使用	□	下剤を定期的に使用	□	※別紙参照	
口腔粘膜炎	無・有	□	疼痛があり、摂食できない	□	わずかで摂食に影響なし	□	疼痛があり、摂食の工夫が必要	□	疼痛があり、摂食できない	
倦怠感	無・有	□		□	だるさがある、または元気がない	□	身の回り以外の日常生活動作が制限される	□	身の回の生活動作が制限される	
手足症候群	無・有	□	疼痛を伴う掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活ができない	□	疼痛を伴わない掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活ができる	□	疼痛を伴う掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活ができる	□	疼痛を伴う掌または足裏の皮膚炎があり普段の生活ができない	

※病院連絡の目安に該当する場合は、当院へご連絡するよう指導お願い致します。

評価は2通りに分けて記載

現在の副作用について

該当する場合は
病院へ連絡するよう指導
後日FAXにて
病院へ情報提供

今回の治療開始から 現在までの副作用について

後日FAXにて
病院へ情報提供

※多忙とは思いますが
現在の副作用については
必ず聞き取りの方よろしく
お願い致します。



がん治療におけるトレーシングレポートでよくある質問



提案事項・その他報告事項

〇月△日(day10)にテレフォントラッキングしたところ、
 〇月△日～△日(day1-5)に悪心による食欲不振を認め、
 食事は普段の50%弱まで減少しており、Grade2かと思われます。
 テレフォントラッキングした時点では、症状は改善し、普段通りの食事にまで回復しております。
 S-1は指示通り現在まで内服出来ております。
 発現時期を考慮するとオキサリプラチンによる遅発性悪心かと思われ、
 制吐薬強化についてご検討お願い致します。



〇月△日(day10)にテレフォントラッキングしたところ、
 〇月△日～△日(day1-5)に悪心による食欲不振を認め、

症状

食事は普段の50%弱まで減少しており、Grade2かと思われます。

評価

テレフォントラッキングした時点では、症状は改善し、普段通りの食事にまで回復しております。
 S-1は指示通り現在まで内服出来ております。

発現時期を考慮するとオキサリプラチンによる遅発性悪心かと思われ、
 制吐薬強化についてご検討お願い致します。

対応・提案



がん患者用トレーニングレポートの活用例



ご清聴ありがとうございました